

新潟県高齢者大学の学生募集

●募集する講座 教養講座(2年制)、福祉ボランティア講座(3か月)、パソコンによるワープロ講座(2か月)

●開講期間 6月～10月

●ところ 新潟ユニゾンプラザ(新潟市上所2)ほか

●対象 県内在住の60歳以上の人

●申込み・問い合わせ 4月22日(月)までに、新潟県高齢者大学事務局(新潟市上所2 財新潟県長寿社会振興財団内、☎025-285-1400)へ。

入学案内は、市役所1階福祉健康課③番窓口にもあります。

開かれた県政のために 県政モニターを募集

●応募資格・募集人員 4月1日現在、県内に住む20歳以上の人(公務員や、公職選挙法による公職に就いている人などを除く)、20名

●任期 5月～平成15年3月31日

●仕事の内容 県の施策の中の特定のテーマについてレポート提出(年5回程度)など

●募集期間 3月31日(日)まで

●問い合わせ 県総務部広報広聴課広聴係(☎025-280-5015)へ。

国民の生の声を届けよう！ タウンミーティング共催団体募集

タウンミーティングは、閣僚や有識者議員などが国民と対話をしながら、国民の目線に立った政策をつくらうと、昨年6月から始めました。

このタウンミーティングの企画案を地域の各種団体などから募集します。

●開催時期 平成14年度中

●対象となる団体 まちおこし団体、NPO、商工会・商店会、高校・大学のサークルなど

●対話のテーマ 幅広く国民の関心を呼ぶもの

●問い合わせ 内閣府大臣官房タウンミーティング担当室「共催団体募集係」(☎03-3581-1556)へ。これまでの様子はホームページ(http://www8.cao.go.jp/town/)をご覧ください。

遺児手当・交通遺児特別交付金を振り込みます

●振込日 3月20日(水)

●対象となる期間・手当の額

- ・遺児手当 平成13年12月～平成14年3月(児童1人につき月2,000円)
- ・交通遺児特別交付金 平成13年8月～平成14年3月(児童1人につき月1,000円)

●問い合わせ 福祉健康課児童係(内線255)へ。

これらの手当は、保護者などが死亡した18歳未満の児童を養育している人に支給されるもので、この手当を受けるには申請が必要です。

福祉タクシーを利用する人は 更新手続きをお忘れなく

福祉タクシーやリフト付きタクシーの利用助成を受けている人は、平成14年度の更新手続きが必要です。

●申込み受付 3月15日(金)から

●手続きに必要なもの

- ・福祉タクシー利用助成券...身体障害者手帳または療育手帳、印鑑
- ・リフト付きタクシー利用券...身体障害者手帳または療育手帳、介護保険被保険者証、印鑑

●申込み 福祉健康課福祉係(市役所1階⑤番窓口、内線147)へ。

4月1日(月)から 精神障害者医療費の窓口などが変わります

手続きの種類	今までの窓口	新しい窓口・☎
精神障害者医療費受給者証の申請・交付、助成申請	福祉健康課福祉係	福祉健康課健康増進係(保健福祉センター内 ☎22-2510)
通院医療費公費負担申請、精神障害者保健福祉手帳の申請・交付	新津保健所	

●問い合わせ 福祉健康課健康増進係(☎25-2510)へ。

「元気なアイデア実行隊」助成事業 緑化推進・環境保全事業を助成します

●対象となる事業 地域の個性や特色を生かした緑化・環境保護活動で、営利を目的としないことなど

●対象となる団体 県内に住所を置く民間のボランティア団体(町内会や婦人会などを含む)で、1年以上の活動実績があることなど

●補助金額 経費の3分の2まで(70万円を上限とし、15万円以上)

●応募方法 3月29日(金)までに、補助金交付申請書など指定の書類を提出してください。

補助金交付要綱、申込用紙は、(財)県職員互助会事務局や県財務事務所にあります。また、県の「NPOのホームページ」(http://www.pref.niigata.jp/npo/)からも取り出せます。

●問い合わせ (財)県職員互助会(☎950-8570 新潟市新光町4-1 県総務部人事課内、☎025-285-5511内線2153)へ。

(財)21世紀職業財団新潟事務所 働くあなたのホットライン フレフレ・テレフォン新潟

「仕事と家庭を両立したい」「もっと安心して働きたい」という人に、育児や介護・家事サービスに関する情報を無料で提供しています。

●とき 毎週月～金曜日の午前9時30分～午後4時30分(祝日を除く)

●電話番号 025-243-2020

相談は無料

自動車保険請求無料相談

●とき 毎週月～金曜日の午前9時30分～正午と午後1時～4時40分(祝日を除く)

●相談電話番号 025-225-1851

●ところ 新潟自動車保険請求相談センター(新潟市本町通7番町、興亜火災新潟支店ビル5階。ホームページアドレスは、http://www.sonpo.or.jp)

弁護士相談(予約制・相談無料・要面談)も有り。毎週水曜日の午後1時～4時



ボランティア支援バス(仮称)の試験運行を通しての問題点など

①路線バスとの二重施策
ボランティア支援バス(仮称)と路線バスとは、重複する区間が多くあります。国・県・市町村は、路線バスに対して支援することによって、その運行を維持しているのが現状ですが、最も利用者の多い本町二番館と市役所間は、市が補助金を出しています。

②公共交通の優位性
市内の路線バスは、運行経路、運行間隔ともかなり充実しています。

本町二番館から荻川方面は一日に上下二十九本。本町二番館から中新田方面の新津工業高校前は、上下三十一本。本町二番館から草水方面は、上下三十本。本町二番館から矢代田方面の朝日は上下三十六本。本町二番館から小合方面の小合は、上下十九本です(以上、いずれも曜日により若干本数が違います)。

また、停留所は、約五百以上の間隔で市内に多くあります。

③少ない利用者
ボランティア支援バス(仮称)に全区間を通して平均何人乗車しているかを表わす平均乗車密度は、わずかに二・六人です。

利用者が少ない理由としては、市民の多くが自分のニーズに合うほかの交通手段を利用しているためと考えられます。

④高い経費
試験運行に要する年間の経費は、市のマイクロバスを使用し、運転をシルバークロバを使用し、委託して経費を削減しても概算で四百八十万円かかります。一方、年間の利用者数は延べ約一万六百人と予想できますので、一人当たりの経費は、約四百十円となります。



3月末で試験運行は終了 今後の生活交通の確保を引き続き検討

ボランティア支援バス(仮称)の試験運行の結果、利用者の実態や問題点など多くのことが明らかになりました。

この試験運行は、三月三十一日までの予定ですが、今後、各種の充実した公共交通を活用しながら、市民の生活交通を確保するための計画を検討していきます。

■問い合わせ 企画調整課内線 341

4月 市役所への路線バスのダイヤが一部変わります

●新津～総合庁舎～市役所 線 …… 運行日は平日のみ

バス停	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便
新津	8:15	8:30	9:16	10:45	12:35	15:00
本町2丁目	8:16	8:31	9:17	10:46	12:36	15:01
山谷	8:17	8:32	9:18	10:47	12:37	15:02
総合庁舎	8:23					
市役所	8:25	8:38	9:24	10:53	12:43	15:08
薬科大学	-	8:44	-	-	-	-

バス停	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便
薬科大学	-	8:45	-	-	-	-	17:14
市役所	8:25	8:51	9:50	11:20	13:05	15:30	17:20
総合庁舎							17:22
山谷	8:27	8:53	9:52	11:22	13:07	15:32	17:23
本町2丁目							
新津	8:33	8:59	9:58	11:28	13:13	15:38	17:30

新潟交通の市内循環線(本町二番館前～市役所)の一部の便が、四月一日から新潟薬科大学新津キャンパスへも回ります。

※土・日曜日、祝日は運休します。

4月1日から、免稅軽油使用者証交付申請に手数料がかかります

4月1日からは、免稅軽油使用者証の交付申請(新規・更新・再交付)に手数料が必要です。手数料:400円 問い合わせ:県新津財務事務所課税課(☎24-9614)へ。